

【河川】きれいな川を油流出事故から守るために！ ～ 油流出事故に備えオイルフェンス組立設置等訓練を実施しました ～

平成30年10月31日
山形河川国道

1. 経緯／概要

○最上川の水質事故の発生件数は、国が管理する東北12水系の中で最も多く、近年ワースト1位が続いています。原因の多くは、冬季間における灯油の流出によるもので、暖房器具などを使用するこれからが多発する時期となります。水質事故は突発的に発生し、下流へ拡散すると魚類のへい死や水道水等の取水停止など、環境や飲み水にまで影響する大きな被害につながる恐れがあります。このため、最上川水系水質汚濁対策連絡協議会では、迅速で確実な事故対応技術を習得するために毎年訓練を実施しています。

2. 訓練概要

「平成30年度 オイルフェンス組立設置等訓練」

日時：平成30年10月31日（水）
13:30～15:30

場所：須川 反田橋上流左岸
（山形市飯塚地内）

参加者：約120名
（国土交通省、山形県、
最上川流域市町村、
東北電力など）



開会式

3. 訓練の様子



初期対応訓練

オイルフェンス組立訓練



簡易オイルフェンス組立訓練



水路での流出油回収訓練

オイルフェンス設置訓練（横断工法）



オイルフェンス設置訓練（半円工法）